

知って
おきたい

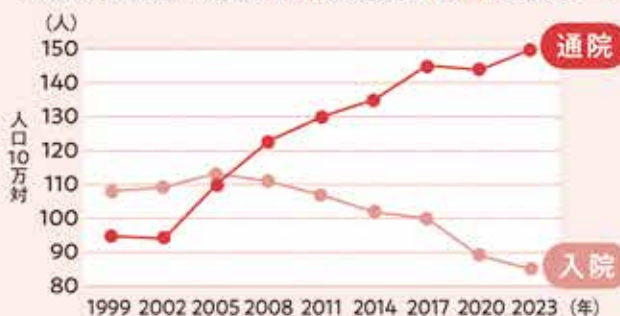
「まさか自分が」となる前に がん治療の“今”



近年のがん治療の進歩は目覚ましく、体への負担が少なくな鏡視下手術やロボット手術が行われるなど、ひと昔前と大きく変化しています。例えば2023年の平均入院日数は約14日。1999年からの約20年で半分以下になっています^{※1}。また、右の図のように、入院・通院外来の患者数も逆転し、通院が大幅に増えています。

今や、がん治療は「短期入院、通院で治療を行う」が主流。もしもあなたががんと診断されたら、日常生活を送りながら長期的な通院治療を受けるかもしれません。今から、現在のがん治療の情報をチェックして「もしも」に備えておきましょう。

-がん(悪性新生物)の外来受療率・入院受療率^{※1}-



約20年で通院治療の患者が増えています



知る

がん治療は通院治療が、
主流の時代に。

※1 厚生労働省「令和5年(2023)患者調査の結果」をもとにJA共済作成 ※2 厚生労働省「平成11年、令和5年患者調査」をもとにJA共済作成

考える

もしも、 がんと診断されたら



医療技術の進歩により、**がんになっても長期生存が期待できる時代**に。がんと診断されてから5年後も生存されている方の割合も増えて^{※3}います。治療の方法は基本的に「がんの3大治療法(手術・放射線治療・薬物療法)」と緩和ケア等を組み合わせ、体への負担も考慮して治療方針を決めます。

<がんの3大治療法>



手術

がんやがんのある臓器を切除して取り除く治療法。



放射線治療

放射線ががん細胞にダメージを与えて治療します。



薬物療法

抗がん剤・ホルモン剤などで治療や症状緩和を目指します。

緩和ケア

がんに伴う体の苦痛・気持ちの辛さを和らげるための、医師・心理士など専門職によるケア。

現在は治療法の幅が広がり、先進医療も選択肢の一つに

CHECK!

通院治療が増え、^{※2}

働きながら治療を受ける人が
約49.9万人というデータも。^{※4}

長期的な通院治療と日々の生活・仕事を両立しながら治療を受けます。しかし以前と同じようには働けず、収入が減ってしまう場合があります。

がん患者の
約半数が収入減[※]

減少した
43.2%
n=4,380

※JA共済連「がん罹患経験者へのアンケート調査」

そこで!



がんの3大治療法に対応!

生活 や **仕事** と両立しながら、**安心**して治療に向き合えます



**3大治療法に加え、
緩和ケアまで幅広く保障!**

入院はもちろん、手術・放射線治療・抗がん剤等の薬物療法やがん性疼痛等の緩和のための在宅医療まで保障。先進医療も保障されます。^{※5}

**通院による所定のがん治療も
保障。長期化しても安心!**

通算の支払い回数に限度はなく、所定の治療を受けた月ごとに共済金を受け取れます。

**共済掛金の払込免除^{※6}や一時金が
受け取れる保障^{※7}など、
オプションが充実!**

がん診断以降の共済掛金の払込み免除^{※6}やまとまった一時金の保障^{※7}など、ご意向に合わせた保障内容を設計できます。

※3 国立がん研究センター「がん情報サービス」全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告(国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策情報センター 2020) 独立行政法人国立がん研究センター「がん研究開発費「地域がん登録精度向上と活用に関する研究」平成22年度報告書」※4 厚生労働省「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン 令和5年3月改訂版」(資料厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」をもとに同省保険局医療課にて特別集計したもの)無給で自費診療の手当を受けた場合等を含む。※5 先進医療保障ありの契約の場合 ※6 がん診断時共済金払込免除特則が付加した場合 ※7 診断保障ありの契約の場合 ●この共済には、解約時の返戻金、死亡時における保障はありません。●がんに関する責任(保障)の開始は、この契約日からその日を合せて91日目からとなります。これより前に被共済者ががんと診断確定された場合には、共済金はお支払いいたしません。また、がん診断時共済金払込免除特則が付加されている場合におけるがん診断による共済掛金の払込免除はありません。●所定の後遺障害等の状態による共済掛金の払込免除についてはご契約日から保障いたします。●お支払いには所定の条件があります。

●この広告は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

JAバンク休日ローン相談会のお知らせ

開催日：令和8年**1月25日(日)**

時 間：**10:00～15:00**

開催支店

- ◆那智支店 那智勝浦町天満122 ☎0735-52-0241
- ◆太地支店 太地町太地3394-1 ☎0735-59-2036
- ◆新宮支店 新宮市井の沢10-1 ☎0735-22-0127
- ◆みさき支店 新宮市三輪崎1078-1 ☎0735-31-7018
- ◆西向支店 串本町西向763 ☎0735-72-0079

休日にゆっくり相談したいという地域のみなさまのニーズにお応えして、休日ローン相談会を開催いたします。住宅・マイカー・教育・農業資金など、ローンのことなら、JAにお気軽にご相談ください。

ご相談いただいた方には、先着順で「ご来場記念品」をプレゼント！

住宅ローンについては、ご新規のほか、他の金融機関からのお借換えにもご利用いただけます。休日ローン相談会では、お借換えメリットのシミュレーションを無料で実施しています。ぜひ一度、ご検討ください。

◎相談会開催にかかる情報については、「JAわかやま」ホームページでもご確認ください。

JAわかやま

検索



みくまのルーシリーズ 〇〇ちゃんに聞きました！



西向支店

しばた あやみ

柴田 彩未

趣味：アイドル「嵐」が好きです!!

スマイル

おーい！
れんちゃん、
散歩いこよう



Q1 初めての勤務先はどこでしたか？

A…最初の勤務先はAコープランティス店でした。アルバイト時代にレジ業務を経験していたこともあり、周囲の温かいサポートに支

た。はじめに大学卒業後、JAに入組しました。入組前にはAコープなち店でアルバイトをしていたこともあり、その縁で職員の方から声をかけていただいたのがきっかけです。これまで、Aコープランティス店やAコープなち店をはじめ、色々な支店や地域で様々な担当を経験し、その中で本当に多くのことを学んできました。

Q2 現在の勤務場所はどこですか？

A…西向支店です。ここで初めて渉外担当を任せられました。4年目となり、だいぶ慣れてきましたが、最初の頃は「外回りができるだろうか」「組合員や利用者の方の期待に応えられるだろうか」と、不安でいっぱいだったことを今でも覚えています。さらに、バイクに乗るのも初めてで、倒してしまうこともありましたが、バイクで回っていると、地域の方が話かけてくれたり、手を振ってくれたり嬉し

Q3 西向支店の雰囲気をお教えください

A…資格取得や支店協同活動にとても力を入れていきます。最近受けた試験では無事に資格を取得することができました。

Q4 趣味や挑戦したいことはありますか？

A…アイドルが好きで嵐の櫻井君が推しです！普段から続けていることは健康維持です。マラソン大会に挑戦するなど運動を意識しています。昨年12月にはブルービーチ那智で開催されたマラソン大会に出場し、完走しました。

愛犬「れんちゃん」にもお散歩をしながら運動に付き合ってもらっています。

き、次のステップに向けて勉強を続けています。

生産者が丹精込めて育てた 野菜や果物、花木などがズラリ!

11/29

那智勝浦町農産物品評会

12/6

新宮市農林産物品評会

各地で品評会が開かれました



新宮市の会場の様子



那智勝浦町の受賞者のみなさん

また、12月6日には新宮市農林産物品評会実行委員
審査では、形や色などが細かく評価され、金賞7品、銀賞および銅賞、努力賞がそれぞれ10品ずつ選ばれました。来場者からは「立派で美味しそう」「上手に作っている」といった声がありました。

11月29日、那智勝浦町体育文化会館で那智勝浦町農業振興協議会主催の「第47回那智勝浦町農産物品評会」が開かれました。会場には、白菜や大根をはじめ、ポンカンなど、地元生産者が丹精込めて育てた野菜や果物、花木、合計129品がズラリと並び、来場者の目を惹きました。

今年も夏の猛暑で野菜の生育や品質が心配されましたが、生産者の技術と努力により、立派な農産物が数多く展示されました。品評会を通じて、生産者の工夫と熱意が地域の食卓を支える力となっていることや地域の暮らしを支える基盤であることなど、品評会はその魅力を広く伝える大切な機会となっています。

会主催の「第74回農林産物品評会」が新宮市の蓬萊体育館で開かれました。農業者の生産意欲を高めるとともに、地場産物への理解を深めることを目的としています。こちらも野菜や果物など合計237品が出品され、特等賞5品をはじめ、合計25品の入賞が発表されました。

「地元野菜の特徴について」

～勝浦の野菜を食べて健康に!～



「地元野菜の特徴について」をテーマに、那智勝浦町における農業の現状、高齢化や農家数の減少をはじめ、近年の夏の異常な暑さによる農作物への影響などを説明しました。また、町内で栽培されるナスやトマト、ピーマンなどの身近な野菜の選び方やお米についてのクイズも実施するなど盛りだくさんの内容でした。講師の清水氏は「地元の新鮮野菜を積極的に食べて健康でいましょう」と話しました。

食生活改善推進協議会養成講座で講義を行う

まりひめ苺出荷始まる!

12月15日、みくまの営農経済センターでまりひめ苺の初出荷がありました。当日は、各等級・サイズ合計236パックが新宮公設市場に出荷されました。

- ・12月15日：苺初出荷（共選開始）
- ・12月16日：現地圃場巡回
- ・12月26日：苺目ならし会
- ・1月5日：新宮公設市場「初市」
- ・1月15日：熊野那智大社奉納



千両出荷しました

12月15日、みくまの地域本部管内、古座川町で千両の出荷がありました。品質は良好。今年度は猛暑により、前年よりも数量減となりました。



- ・生産者：3人
- ・出荷量：103箱
- ・出荷先：奈良花き植木農業協同組合
- ・千両市：12月17日

管内各地で“支店協同活動”を実施！

～支店協同活動とは～ 支店が主体となって取り組む地域に根ざした活動で、農業および、くらしを含む、教育・文化・地域貢献活動を通じて地域全体を元気にし、組合員や地域の方々が「わがJA」と感じられるような関係づくりを目指しています。

11/8
那智支店

健康と防災イベントを開催！

那智勝浦町役場と共催

11月8日、那智支店はAコープなち店前で、地域住民の方を対象に、健康意識の向上と災害への意識・備えを考える機会の提供を目的とする「健康と防災イベント」を実施しました（那智勝浦町役場福祉課、総務課防災対策室と共催）。健康コーナーでは、体力測定（握力測定・立ち上がりテスト）、野菜の摂取量を測定するベジチェックが行われ、防災コーナーでは、那智支店職員による「防災クイズ」を実施しました。その他にも災害時に役立つ「パッキング」の展示があったほか、JA共済ドライビングシミュレーター「きずな号」による安全運転啓発を行いました。参加者には、野菜サラダや焼き芋などが振る舞われ「もう少し野菜を増やしたメニューを考えたい」「意外と野菜を摂取できていた」などの感想がありました。那智支店の堀正通支店長は「地域の方々の生活に密接な“健康”と“防災”について考えるきっかけとなってくれば」と話しました。



ベジチェック中



6年ぶりの開催で会場は賑わう！

11/2
太地支店

11月2日、太地町の太地漁港ふれあい広場で開かれた「第36回太地浦くじら祭」に支店協同活動の一環として太地支店が参加しました。太地支店ブースでは「わたあめ」や支店職員が考えた太地支店スペシャル「たません」などを用意し、多くの来場者に喜ばれました。同祭は、コロナ禍などがあり、6年ぶりの開催となりましたが、会場には祭を待ちわびた多くの来場者で賑わいました。太地支店の岡本光正支店長は「地域のみなさんに喜んでもらえて良かった。今後も地域密着で地域の拠点となるような支店を目指して取り組んでいきたい」と話しました。



大好評“たません”

11/30
新宮支店

恒例！ふれあい店まつりを開催！

11月30日、新宮支店はふれあい店（田辺市本宮町）で、恒例の「ふれあい店まつり」を開催しました。会場では、地元産の秋の味覚を楽しんでもらおうと、新米を使ったおにぎりや熱々の豚汁を振る舞いました。また、お菓子のつかみ取りやヨーヨー釣り、ストラックアウトのコーナーでは、子どもたちが元気にゲームを楽しむ姿が見られました。新宮支店の山本富也支店長は「地域のみなさんと直接ふれあう貴重な機会となりました。今後もこうした交流を大切に、継続して開催していきたい」と話しました。



ストラックアウト也大盛り上がり♪



※みさき支店、西向支店の支店協同活動については、次号掲載予定です。

総代懇談会を開催



挨拶をする芝 副組合長

冒頭の挨拶で芝光洋副組合長は「新JAがスタートし8カ月が経過したが、組合員・総代のみなさまのご理解とご協力により、大きな混乱もなく運営できている」と述べ、合併後の運営状況を報告しました。また、上半期の総括として「異常気象に伴う農産物被害が拡大した一方、高単価で販売できた品目も多く、販売事業をはじめ各事業は一定の成果を収めることができた」と話しました。

懇談会では、上半期

12月9日、那智勝浦町体育文化会館で、第2回総代懇談会を開催しました。本店から副組合長をはじめ常勤役員も出席し、みくまの地域の総代のみなさんと意見交換を行いました。

の仮決算結果、事業実績、自己改革の進捗状況について、本店役員、みくまの地域本部からそれぞれ説明がありました。

出席した総代からの質疑は以下のとおりです。

Q 管内は農業者の高齢化が進んでいて

次世代（跡継ぎ）も少ない状況だ。このままでは農業をする人が減り田畑も荒れてしまう。

そのため、機械化を進める必要があるが、農業振興支援制度（JAわかやまの助成金制度）の助成金額だけでは資金が不足する。そこで、JA

だけでは難しいかもしれないので、国政にも訴えかけて、和歌山県の声として、助成金の充実に向けた要望を上げてほしい。

J Aの制度では、できるだけ多くの方に活用していただきた

く上限を設けていますが、助成額が十分でないというご意見については検討させていただきます。

また、国では基盤整備の大規模化等で大

型機械の予算化に向けて取り組んでいます。

国へは強く要望を上げていきたいと思います。



第3回 地域運営委員会開催

開催日：令和7年11月27日（みさき支店2階）

議題

- (1) 令和7年度10月末事業実績報告について
- (2) 自己改革工程表進捗状況について
- (3) 令和7年度9月末仮決算結果（速報）について
- (4) 役員（理事・監事）改選について



第3回委員会では、令和8年6月の役員改選における候補者選定について議論が行われました。現行、役員として、みくまの地域からは2名の非常勤理事と1名の非常勤監事が選任されています。本来の任期は3年ですが、合併初年度は1年とされており、令和8年に開かれる総代会において新たな役員が選任されます。

委員会では候補者の推薦や立候補など、選定方法について

話し合われましたが、合併後のJA運営が安定するまでは、合併前後をよく知る今の役員に引き続きお願いするのがいいのではないかと意見があり、出席した委員の賛同が得られたため、現役員3名が候補者として選定されました（なお、当候補者については、今後開催される推薦会議の承認を経たのち、総代会での決議をもって正式に就任となります）。

新宮公証役場より

公証人のおはなし

公正証書
遺言・任意後見

シーズン2《第8回「梅と終活」》

新宮公証役場、三橋です！

寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

少しずつ夕暮れの時間が遅くなり、春の足音が聞こえてくるようです。梅の木を見上げ、つぼみのふくらみが気になる頃で、春を告げる梅の花が待ち遠しいです。

さて、終活って、何をすれば良いでしょうか。参考にしてみてください。

終活としてやるべきこと

終活は、自分で考えて、これからするべきことです。一般的には、①エンディングノート、②お金の計画、③老後の介護、医療、④お葬式・お墓のこと、⑤遺言書、相続、⑥生前整理などの例が挙げられます。それぞれ考えてみましょう。

①エンディングノートについては、これまでを見つめ、未来に向けて、自身の情報や考えを設計図のように「見える化」してみることでしたね。あくまで、自分のためのノートであり、いつでも修正できる「道しるべ」として、自由に考えてみると良いでしょう。

お金の計画

老後の生活で、お金は重要です。月々の年金や銀行の蓄えなど収入を把握して、日常の生活費用などの収支を計画している方は多いと思います。

日常的なお金の出し入れは、計画性が大事ですね。病院や施設に入るための費用、住んでいる家の修繕など、これからの備えとしての出費にも留意が必要です。

将来的な生活設計として、月単位、年単位のお金の計画を、ノートに書き試算してみることで、見通しがスッキリするのではないのでしょうか。

お金にまつわる老後の不安と対策

将来への不安は、やはり健康です。今は元気でも、判断力が不十分になると、銀行などの預金を引き出すことができないことも想定してみる必要があります。

金融機関では、本人の判断力が不十分な場合のほか、本人が窓口に出向くことができないと、預金の取引が制限されることがあります。このような場合に備えて、取引や契約など本人の行為をサポートする、代理する制度が「後見」です。

後見には、判断力が不十分になった後、裁判所に申し立て選任してもらう「法定後見人」と、判断力が不十分になる前に、自分で信頼できる人と契約する「任意後見人」があります。

将来への備えとして、自分の信頼する人を後見人に決めておくことは、自分自身のためでもあり、周囲の家族や親族などにとってもとても重要なことです。

【おしらせ】 新宮公証役場では、遺言や任意後見を始め、お金の貸し借りや養育費の約束など、公正証書に関する相談を、平日9時から17時まで、無料で対応しております。**必ず事前予約の上**、お気軽にご利用ください（0735-21-2344）。



お問い合わせ先

新宮公証役場

〒647-0043 和歌山県新宮市緑ヶ丘2-1-31
TEL:0735-21-2344(平日9:00~17:00)